



2022年2月8日

各位

会社名 太陽ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤英志
(コード番号 4626 東証一部)
問合せ先 執行役員経営企画室長 富岡さやか
(TEL 03-5953-5200 (代表))

2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2022年2月8日開催の取締役会において、2021年11月5日に開示した、通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 ※
前回発表予想(A)	百万円 92,200	百万円 15,900	百万円 16,000	百万円 11,200	円 銭 198.35
今回修正予想(B)	93,900	17,000	17,200	12,100	214.08
増減額(B-A)	1,700	1,100	1,200	900	
増減率(%)	1.8	6.9	7.5	8.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期通期)	80,991	13,943	13,819	9,529	167.49

※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

電子機器用部材事業については、2022年3月期第3四半期の業績においては、半導体パッケージ基板用部材、民生用関連部材、ディスプレイ関連部材が好調に推移しました。特に、半導体パッケージ基板用部材では、モバイル端末用のアプリケーションプロセッサやメモリー向けのドライフィルム製品等の需要が想定を上回りました。また、為替が円安を基調に推移したことにより、収益性が向上しました。

医療・医薬品事業については、2022年3月期第3四半期の業績において、売上高が他社後発医薬品の供給停止となった影響で一部製品が増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、一部製品の売上高が減少し、低調に推移しました。一方、営業利益においてはプロダクトミックスの変化、販売費及び一般管理費の下振れ等により、想定を上回りました。

売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益において、2021年11月5日に開示した通期連結業績予想から、2022年3月期第3四半期は実績値に更新し、2021年11月5日に開示した通期連結業績予想を上回る見込みとなりました。なお、2022年3月期第4四半期業績予想は2021年11月5日に開示した業績予想を据え置いております。

3. 配当予想について

期末配当予想につきまして、2021年8月2日に公表した内容から変更はありません。

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上